

1. 日時：令和元年11月15日（金）10：00～11：30

2. 場所：和歌山市役所東庁舎3階 第5会議室

3. 会議次第

1 開会

2 議題

(1) 次期計画基本目標別施策について

(2) 和歌山市地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保について

(3) その他

3 閉会

4. 会議資料

基本目標別施策一覧（第3回会議で使用）

基本目標別各施策（第3回会議で使用）

基本目標と施策体系図（現行計画との比較）（第3回会議で使用）

次期計画における新規及び削除施策等の一覧（第3回会議で使用）

地域子育て支援拠点事業に係る資料（第3回会議で使用）

和歌山市地域子ども・子育て支援事業のニーズ量推計

1. 開会

岡本部会長あいさつ

部会の決議が子ども・子育て会議の決議になる。しっかりと審議していきたい。

(1) 基本目標別施策について

(事務局)

前回は、基本目標2までのご意見をいただきました。本日は、基本目標3からの意見をいただけたらと思います。事前に書面でご意見をいただきました。内容をとりまとめて、次回の本会でご報告できたらと考えています。

(部会長)

ご意見はありませんか。

(委員)

前回の会議で放課後児童クラブの民間委託について伺いましたが、そのことによって、どのように充実するのかお聞きしたい。働いている方は500人もおられて、不安がっている。どのように充実されるのか。

(青少年課)

民間委託について、昨年から議論してきました。最大の問題は人手不足。市役所教育委員会でも、ハローワークを含めて広告を出したり、心あたりに声をかけたり、学校関係に呼びかけたりして人材を集めるようにしてきました。昨今、保護者の要求する水準が高くなっています。教室の数が1.5倍になりました。1教室につき、最低二人となっていますが、注意を要する子どもや、人数が多くなっているところは、3人、4人が必要になっています。シフト制をとっていますが、緊急で休む方もおられます。そのための要員も確保していますが、足りません。青少年課の職員がいくこともあります。すでに民間委託している東大阪市を視察しましたが、民間のほうが広く人材を集めています。指導員は研修も受けていただいています。今は、やる気と数を確保しないと運営が困難になります。今は、待機児童を出さずにやっていますが、今後は難しくなります。総合的に検討したなかで、民間委託に踏み切らせていただきました。

指導員の不安はあると思いますが、エリアごとに説明会をしています。代表の方には、議会承認後に説明しました。今は、代表以外の方に説明をしています。保護者にもひととおり説明しています。

(西村委員)

民間委託することで、若竹学級の充実にどのようにつながるのですか。

(青少年課)

今は、一般行政職の人間が運営しています。民間委託になれば、学童保育の実績のあるところに入っただくことにより、カリキュラム、ノウハウにプロの力をお借りし、より充実したサービスを提供できると考えています。

(委員)

知識のある人が入ってこられるという理解でよいのですか。

専門的な知識のある人がグループ長になり、指示やアドバイスをし、その下に指導員が働くということでよいのですか。

(青少年課)

専門的な知識のある人が巡回し、指導します。今も、コーディネーターは元学校長にさせていただいて、充実したものになっています。若竹学級は学校の施設を利用していますので、学校の方が関わっていただくことで、学校とは別というのではなく、連携してできるよう、橋渡ししていただいています。今は、それも浸透してきています。当初の目的は達成できているので、今後は、発達障害のある子どもや、人数が増えてくるなかで、今までよりも保育のスキルが必要になってきます。遊び方、ノウハウについても伝えられると考えています。

(委員)

私の地元の小学校運営協議会で、このことについて、PTA会長は、知らないと言っていました。私は、民間でも、公営でも、内容が問題だと思っています。また、民間は、利益を上げようとします。同じ予算で利益を上げようとすると、どこかにしわ寄せがくるのではと、働いている人が心配しています。

(委員)

私もコーディネータをしていますが、巡回するのは月に1回です。共働きが増えて、児童の数が増えました。子どもたちも多種多様になっています。月に1回の訪問なので、そのときにいろいろと質問を受けます。民間委託し、専門の方がすぐに対応できるのであれば、充実になるとは思います。私も、巡回のとき以外に、

携帯に電話がかかってきて相談を受けることがあります。子どもが第一。スタートの形だけでなく、子どもに帰るようにしてもらいたい。指導員が自信をもって運営にあたられるようにしていただきたい。

(委員)

民間委託は決定なのか。

(青少年課)

議会で承認いただきましたので、今後、業者を選定していくことになります。

(委員)

今の話を聞くと、充実というより、維持するためと感じます。民間委託をしても、今の求人状況を見ると、人員確保は難しいと思います。今は、あらゆる業種で人手不足。民間だからといって、人手が確保できるわけではありません。資質について心配になります。

今までも学校と若竹学級は別組織として、障壁があると聞いています。今後、官と民になると、さらに障壁になるのでは。指導員の資質というよりは、スキームをきちんと作っていかないといけないと思います。

(委員)

若竹の指導員の雇用主が変わることなのですか。

(青少年課)

今は市が雇用主ですが、今後は選定された業者が雇用主になります。

(委員)

全員が転籍されるのですか。

(青少年課)

委託の条件として、今の指導員が希望すれば全員雇用してもらうようにしています。

(委員)

委託期間が決まっているのでは。契約期間が終わり、業者が変わると、従業員の雇用主もかわるのではないですか。

(青少年課)

契約までは関われないですが、今働いている人はノウハウをもっているので、引き続き働いてもらわないと回らないと思います。加えて、あらたに雇い入れて運営していくことが業者の役割となります。今も、仕事に向いている人、そうでない人もいます。続く人は続くが、すぐにやめる方もいます。

(委員)

民間に転籍されて、民間の従業員になるということですが、その業者が委託を外された場合はどうなるのですか。それに、今も人手不足なのに、雇用主が変わり、従業員がそのまま残るのかどうか心配です。子どもたちは同じところに通います。子どもたちに影響はでないのでしょうか。

(委員)

人員不足が主な理由であれば、民間委託は解決にはならないと思います。民間にはブラックのところもあります。市が募集するほうが、人は集まると思います。民間だから幅広くといわれても、確保できるのですか。

(青少年課)

業者との契約は3年。それ以降に変わるかは未知ですが、仮に業者がかわったとしても、今の従業員が総入れ替えして運営は難しいと思います。人員の入れ替えなどはすると思いますが、それは市もやってきたことです。年に1度は人事異動をしてきました。働く場所が変わるなら辞めるという人はこれまでもいました。それを恐れると、人事異動はできません。どこの若竹学級でも異動はありえます。指導員同士の人間関係、適材適所で考えてきました。民間になると、さらにシビアな面、働く上で厳しいところもあるとは思いますが。公務員も生ぬるくはなくなってきました。

人員確保については、市もハローワークに求人を出すようになり、少しは集まるようになりましたが、民間は、人を集めるのにお金を使うことができます。令和2年度から会計年度任用職員の制度が始まりましたので、採用までに手続きが複雑になります。夏休み、春休みなど人がたくさん必要な場合、手続きが煩雑で集めにくくなります。

(部会長)

子どもに関わることなので、信頼のできる業者でしっかりと研修をしてもらって、質の低下にならないように、安心できるような委託先にして、中身も充実させてもらいたい。

若竹学級以外で、ご意見ありませんか。

(委員)

ひとり親家庭の情報交換の指標で、参加人数の実績より目標値が減っているのはなぜですか。

(こども家庭課)

資料を持ち合わせていないので、次回までに調べて回答します。

(委員)

病児保育について、開所数は5年後も2カ所と設定されています。他の都道府県や中核市の病児保育の状況と比べると、和歌山市は決して多くない。地域的なバランスを考えると、南のほうも考えて、5年後に3カ所、4カ所に増やしてもよいのではと思います。幼保が無償化されるので、働くお母さんも増えると予想されるので、病児保育も増えてもいいと思います。5年後も2カ所としている根拠をお示しいただきたい。

(子育て支援課)

事前に質問をいただいていたので、ただいま取りまとめしておりますので、次回の会議で報告させていただきますと考えています。

(委員)

ファミリー・サポート・センターの登録会員数について、30年度の実績は1165人となっておりますが、1569人の間違いではないですか。これが変わると、目標もかわると思うので、確認いただきたい。年70人くらい会員数が増えていますので、目標としては1800人くらいと言っておられたのですが、いかがですか。

(子育て支援課)

数字が間違っていました。1569人が正しいです。

(委員)

その数字にもとづいて今後の目標値を考えてもらいたい。

(委員)

海外にルーツをもつ児童について、学習支援は現在4カ所ということですが、翌年度は記されていません。どうとらえたらよいのですか。

(学校教育課)

実施カ所というのは、実施校数のことです。外国籍の子どもがいる学校で実施しており、30年度は4校で実施しています。今後、どの学校に外国籍の子どもがいるかどうか見通しがたたないので、目標を記していません。

(委員)

ニーズがあれば、今後も実施するというものでよいのですか。今後、外国籍の児童が増えてくるのでは。特定技能実習生は、5年後には家族帯同ができるようになると、いっきに増えるのではと思います。

(学校教育課)

考えさせていただきます。

(委員)

トワイライトステイの平成30年度の実績が175人、目標値が150人ですが、需要が減っていくということではよいのですか。

(事務局)

減っていくと判断しています。

(委員)

いじめ・不登校問題への対策について伺います。平成30年度の相談回数が1591回となっていますが、これは増加傾向にあるのか、減少傾向にあるのか、どちらですか。

(事務局)

平成27年度は2157回、平成28年度は1920回、平成29年1845回となっています。

(委員)

減ってきているのですね。そのことについては、どのようにとらえていますか。

(学校教育課)

減っていることへの分析については、相談業務をしているのは子ども支援センターなので、次回回答させていただきます。

(委員)

統計ではいじめの件数が増えたといわれています。いじめの要件がかわって増えたともいわれていますので、減っているのは対策の効果がでているのか、分析していただけたらと思います。

(委員)

いじめの件数は和歌山では増えていますが、解決数は全国1位という報道がありました。発生しても、解決が功をそうしているという報道でした。

(委員)

この計画について、最終決定はいつになるのですか。

(事務局)

3月中に決定させていただきたいと考えています。

(委員)

この会議としては、いつが最終ですか。

(事務局)

12月にもう一度会議をし、意見を反映させていただいて、その後パブリックコメントで市民の意見をいただきたいと考えています。

(事務局)

前回の会議で地域子育て支援拠点事業についてご意見があったので、ご説明させていただきたい。

未就園の子どもを対象に地域子育て支援拠点施設を運営していますが、利用者が減少しているなかで、13カ所を10カ所に整理したいと考えています。10ブロックにそれぞれ1カ所、計10カ所を配置したいと考えています。前回の会議でも、教育は6ブロック、また高齢者を対象とした包括支援センターの15カ所、連合自治会は42あるものを10ブロックとなっていて、それぞれブロックの設定が違っているというご指摘がありました。しかし、地域子育て支援施設については、地域にまんべんなく配置し、親子が利用しやすいところで、地域で子育てを支援するという本来の役割から住民自治のつながりを考え、10ブロックを採用したいと思います。地域で育てる子どもという意味でも、10カ所の拠点を提案しました。今後は、公募による事業者の選定を進めていきたいと考えています。

(委員)

10カ所というのは、利用件数や子どもの数などのバランスをみているということでしょうか。

(事務局)

女性の就業率が上がり、保育の需要が上がっています。無償化の影響もあり、子どもの数は減っていますが、0～2歳の3号認定は増えています。在宅で子育てをしている人の利用が減っていくという傾向があります。

(委員)

市の特性として、ドーナツ化があります。中心部が過疎化し、周辺部に若い人が多い。そのへんも配慮して

いるのですか。

(事務局)

利用者数について、参加者の出身地についての統計はとっていませんが、ぬかりはないです。

(委員)

この地区は入りやすい、別の地区はいっぱいということはないのですか。

(委員)

保護者の希望は生かされますか。ブロック外の利用はできますか。

(事務局)

自由に選択できます。

(委員)

利用するには何か身分証のようなものが必要ですか。

(事務局)

まず、登録してもらうことが必要です。

(部会長)

次の議題に移ります。

(2) 和歌山市地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保について

(事務局)

- ・まずは、子どもの数の推計を載せている。
- ・量の見込みと提供体制の確保については、利用状況や利用希望、ニーズ調査から量の見込みを推計し、提供体制の確保について掲載している。
- ・放課後児童クラブは、利用率、利用者数が年々増加している。その利用率を考慮し、今後5年間も増加すると見込んでいる。
- ・時間外保育事業（延長保育事業）は、過去の実績に加え、ニーズ調査を加味し、過去の利用率が最大の率を採用し、見込みを算出している。見込み量に対する確保に努めていく。
- ・子育て短期支援事業は、過去の実績とニーズ調査結果から見込み量を設定している。見込み量に対する確保に努めてまいりたい。
- ・地域子育て支援拠点事業は、利用率の増加は見込んでいるが、3号認定以外の0～2歳人口が減少するため、見込み量は減少する。
- ・幼稚園の一時預かり事業については、ニーズ調査による潜在的ニーズや無償化の影響も考慮して今後も利用率が増加すると見込んで設定している。確保に努めてまいります。
- ・病児保育、病後児保育、就学前児童のファミリー・サポート・センター事業については、見込み量に対して確保に努めていく。

・就学時のファミリー・サポート・センター事業は、低学年と高学年で設定している。過去の利用率の最大だった利用率を採用している。

・妊婦健康診査は、見込み量は次年度の0歳児推計と過去の実績から算出している。健診回数においても、過去の実績から算出している。見込み量の確保に努めていく。

・乳児家庭全戸訪問事業は、次年度の0歳児と過去の実績から今後も利用が増えていくとして見込みを算出している。

・養育支援訪問事業は、利用率が最大の割合を採用して、見込みを算出している。

(委員)

1から10までの見込み量を出していただいたが、すべて②-①は0になっています。見込みに対して提供は確保していると理解していいですね。見込みを上回っても、対応していただきたいと思います。

(部会長)

放課後児童クラブは2020年以降も利用率が増加するという見込みですが、子どもたちが使う部屋のスペースはどうなのですか。子どもの数に対する面積はどうですか。

(青少年課)

教室に対する子どもの人数は、1学級概ね40人ということが国からは示されている。人数があまりにも超えると環境がよくありません。その場合は、学校にお願いしてスペースを確保していますが、学校も余裕教室がないなかで、図書室、総合学習室などを時間を限って使わせてもらったりして、スペースを確保しています。

(委員)

ショートステイ、トワイライトステイの2019年度が増えているのは、理由は何ですか。

(事務局)

子育てに行き詰っている家庭が対象になっています。

児童虐待が増え、サポートする対象が増えています。児童相談所が対応するまで、ショートステイ、トワイライトステイを使ってサポートもしています。

(委員)

認知度が低いといわれていましたが、解消されているのはうれしい。

(部会長)

ほかに何かありますか。

(委員)

放課後児童クラブの指導員はフルタイムではないと思いますが、一人あたりの給料はどの程度なのですか。民間になっても、こづかい程度であれば、確保は難しいのではと思います。

(青少年課)

勤務は平日13時から18時半の5時間半です。資格のある人は1時間960円。資格のない人は補助員で、

850円となっています。民間委託にあたって、これを下回らないようにとお願いしています。午前中から働けるようにというのも過去に検討したことはありますが、放課後に子どもを預かるのが目的で、働く人も扶養の範囲内で働きたいという人がいます。月給は10万円とすこしで、6万円以下の人もいます。代表の人は夏休みには20万円を超える人もいます。子どもが来てからの仕事なので、午前中の仕事というのも難しいです。

(委員)

最低賃金に近いですね。

(委員)

業者は応募してくれる前提はあるのですか。

(青少年課)

見込みはあります。公示の段階で、業者から問い合わせはありました。

(委員)

プロポーザルですか。

(青少年課)

そうです。

(委員)

施策名で新というのがあらたに取り組むものですか。件数はいくつありますか。数が少ないように感じます。

(事務局)

まったくの新規は少ないです。すでに実施していて、前回の計画に載せていないものも新になっています。

(委員)

社会の変化もあるので、ニーズに応えられるようにお願いします。

重度心身障害者164,461件とあるのは、すごく多いように感じますが、一人で何件も受けているのですか。

(事務局)

今日は担当課出席していないので、確認しておきます。

(委員)

こども家庭総合支援拠点が設置されると聞いていますが。

(事務局)

和歌山信愛学園で年明けに設置する。今の子育て総合支援センターをそちらに移し、こども家庭総合支援拠点として、児童虐待や子育てに困っている家庭への支援の強化に努めていきます。

(委員)

地域子育て支援拠点との関連はどうなっていますか。

事務局

地域子育て支援拠点は、今は4カ所設置して運営しています。物理的に一つの組織として運営はできないですが、児童相談所との連携強化が重要です。物理的には難しいですが、子育て包括支援センターとの連携、一元化できるように構築していきたいと考えています。

終了